

# CHIBA MEITOKU



千葉明德中学校

# 『思考する学び』で 未来に向かいます。

どんな時代も自らの意志で人生を切り拓く『行動する哲人』をめざして

## 建学の精神

### 明明徳於天下者先致其知

～明徳を天下に明らかにせんとする者は先ずその知を致せ～

人間、誰しもが生まれながらにして  
持っている徳性・可能性を明らかにし、  
輝かせるためには「知」が必要である。

※中国の古典「大学」より





## Message

千葉明德中学校・高等学校の教育理念は、校名の由来でもある「明德を明らかにする」ことにあります。「明德」とは一人ひとりが生まれ持った徳性、つまり一人ひとりの能力や人間性であり、「明らかにする」とは、社会に出てそれを発揮するという意味です。そして、「明德を明らかにする」ためには、しっかりと知性をみがぐ必要があります。

知性をみがぐとは、物事を探究してそれをしっかりと見究めること、また自分の判断に基づいて行動していくことです。学校の授業やさまざまな学びの場で、モノの原理や法則、摂理を究めることは、探究活動における中心的な目的です。それと同時に、学びをとおして、人間としての思考力・判断力を養って、行動していかなければなりません。それこそが、本校が掲げる「行動する哲人」です。

千葉明德の教育をとおして、自らをみつめ、将来どのような方向に進むべきかを判断し、行動できる人間になってほしいと思います。千葉明德には、そのためのきっかけを作るために、たくさんの仕掛けを用意しています。

千葉明德で、いっしょに学んでいきましょう。

校長 宮下和彦





01

## プレゼンテーションの明德



発信することで学びを深め、  
自己表現力を磨く。



### 学校生活のあらゆる場面で プレゼンテーションにチャレンジ

千葉明德では、総合的な学習の時間はもちろん、朝の会、各教科の授業、さらには学級活動や学年集会など、学校生活のあらゆる場面でプレゼンテーションの機会が用意されています。その目的は、論理的思考力と豊かな表現力を培うこと。ポスターセッションやスライドを使った発表、グループワークやペアワークでの議論や意見交換など、さまざまな手法をとおして「自分の考えや想いを自分の言葉で発信する」という経験が、日常的に繰り返されていきます。

本数（平均値）は26本から44  
本に増加した。Bは草丈（平均値）が83cm  
から91cmに、本数（平均値）が27本から53  
本に増加した。Cは草丈（平均値）が84cmから  
91cmに、本数（平均値）が27本から53  
本に増加した。Dは草丈（平均値）が85cmから111cmに、本数（平  
均値）が27本から53本に増加した。



### 発信できるからこそ視野が広がる

どんなプレゼンテーションも、発表する人がいればそれを聞く人がいるもの。自分自身が一生懸命取り組んでいるからこそ、仲間のプレゼンテーションも真剣に聞くことができるようになります。理科の実験結果の発表では自分が得られなかった発見を、国語のビブリオバトルではクラスメイトがおすすめする本の魅力を、他者の発表から得ることができる…。そうした喜びが知的好奇心を刺激し、多角的なものの見方と広い視野が身につきます。

### プレゼンカの土台をつくる 「1分間スピーチ」

毎日の朝の会で日直の生徒が担当する「1分間スピーチ」。最初のうちは原稿を読みますが、そのうち原稿なし、時計なしでも話せるようになります。テーマは身近なものが多く、月に1度ほどのペースで一歩ずつ着実にレベルアップしながら、自信をつけていきます。

### POINT

### ディベートで、 傾聴力や多角的な 視点を培う



明德では社会科の授業で積極的にディベートに取り組んでいます。一つのテーマについて賛成側と反対側に分かれて議論を交わし、論理的に考えて主張する力はもちろん、相手の意見に耳を傾ける姿勢や多角的な視点も培います。第三者のジャッジによって勝敗を決めるゲーム形式で、生徒はみんな生き生きと楽しみながら活動しています。ふだんは物静かな生徒が力を発揮するなど、仲間の新たな一面を発見するチャンスにもなっています。

02

プレゼンテーション

探究

01

課題研究論文

03

いのち  
土と生命の学習



「つながり」をテーマに  
持続可能な未来社会を考える。



自動栽培システムを使った実験的な栽培



## 実体験が知的好奇心を刺激し、 社会に直結した学びへと発展する。

中1・中2の総合で取り組む千葉明德オリジナルのプログラム「土と生命の学習」は、農業体験を起点に、食文化や社会の仕組み、環境などに関心を広げていく学習です。ここで何よりも重視しているのが、物事を「ジブンゴト」としてとらえるとともに、「つながり」を大切にす姿勢を培うこと。人と人、人と自然、人と社会、人と地球、そして人とすべての生命のつながりを考え、未来に向かう意識を高めていきます。学習の柱になるのは、校舎の目の前にある田んぼや畑で行う農作業。田植えや種まきから始まり、観察、手入れをした後の収穫まで実際に自分の手を動かして体験します。ときには失敗したり、思い通りの結果にならないこともあります。それを次にどうつなげていくかを考えることで学びが深まります。さらにこの実体験をもとに、班ごとにテーマを設定して研究に取り組み、11月の発表会で全員がプレゼンテーションに挑戦。こうして「試して・まとめて・書いて・発表する」一連の活動を経験したことが、中3の課題研究論文につながっていきます。



### POINT

#### 学年を超えた「つながり」で 幅広いテーマに取り組む

「土と生命の学習」では中1・中2合同で6～8名のグループをつくり、それぞれのテーマを決めて研究に取り組みます。研究内容は紙のポスターにまとめ、発表では昨年度と今年度のものを並べて展示します。学年を超えた研究成果の「つながり」がはっきりわかるとともに、レベルアップも実感できて、生徒のモチベーションが上がるきっかけにもなっています。

#### 《2024年度 土と生命の学習 研究テーマ》

##### ■苗作り

稲自体の研究、無肥料栽培や高温・水害対策等の研究に取り組む。

##### ■水田改良

貯水装置・池の作成や、水田における害虫防除の手法探索に取り組む。

##### ■古米活用・小麦栽培

収穫した米の活用方法の探索や、小麦の栽培等に取り組む。

##### ■地域貢献・トウモロコシ栽培

成果物の周辺地域に向けた還元の方の探索や、トウモロコシ栽培等に取り組む。

##### ■米&夏野菜料理

好き嫌い・宗教的背景等に影響されない料理の開発に取り組む。

##### ■誰でも・どこでもできる農業&害鳥・害虫対策

省スペース&省力な作物の栽培方法の探索等に取り組む。

03

## 課題研究論文

土と生命の学習

02

探究

プレゼンテーション

01



課題を発見し、試して、まとめて、  
書いて、発表する。

興味関心から学びを広げ、  
「なぜ? どうして?」をとことん追求



グループで取り組んだ「土と生命の学習」に続いて、中2の後半から、個人で取り組む「課題研究論文」が始まります。これは開校時から大切にしている「なぜ? どうして?」をとことん突き詰める学習です。まず論文の構成を学び、自分の興味関心に合わせたテーマを設定。中間発表を経て、中3の年明けには論文を完成させ、プレゼンテーションを行います。一貫生は高校受験がないため、より有意義な研究に没頭できます。教科書の勉強だけでなく、生徒一人ひとりの好奇心を大事にして、人間性を育てていきたい。千葉明徳の思いの詰まった学びです。



課題研究ガイドス

### 「実データ」を大切にオリジナルの研究に取り組む

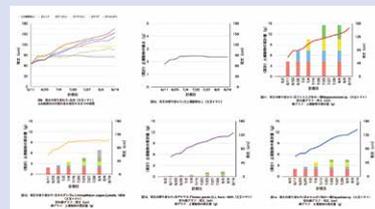
「課題研究論文」は調べ学習ではありません。身近な疑問から新しい「問い」を見出し、先行研究を行ったうえで「仮説」を立て、実験や調査の結果を分析して論文を作成します。重視しているのは、必ず自分の手で実験・調査に取り組み、そこで集めた「実データ」から論拠を得ること。思うような結果が出なかったり、仮説以上に大きな発見を得られたりする様々な体験が今後の学びにつながります。

### 大学のゼミのような学習

研究テーマはそれぞれ異なりますが、似通ったジャンルの生徒を集め、ゼミ形式で活動します。進捗報告会を開いてお互い意見交換をしたり、実データを取るために協力し合ったりすることもあります。自分一人で研究するよりも、違ったテーマを持つ仲間から意見をもらうことで視野が開け、研究にも拡がりが出ます。

#### POINT

### 外部でも高く評価される 高校の「探究活動」



「課題研究論文」に取り組んだ経験は、高校課程の「探究活動」に発展します。中学時と同じテーマで活動を続ける生徒も多く、さらに研究を深めていきます。複数の生徒が千葉大学や茨城大学の高校生生理科研究発表会で優秀賞を受賞するなど、研究の成果は外部でも高く評価されています。また、中高の探究活動で培った力は大学入試の総合型選抜や公募制推薦にも活かされ、進路の幅も広がっています。

## グローバル教育



世界中のどこでも誰とでも  
地球まるごと舞台にした大人になる



楽しみながら  
「使える英語」を  
身につける

千葉明徳の英語はアウトプット重視。洋楽や発話活動を楽しむことで英語に親しみながら、オリジナルのスライドやプリントも駆使して実際に英語を使うことにこだわった授業を展開します。本校のネイティブ教員による英会話、ベルリッツ講師による少人数授業、Z会オンライン英会話も導入し実践力を鍛えるとともに、TOKYO GLOBAL GATEWAY、ポストン、セブ、オーストラリアなど、国内外の語学研修プログラムも充実しています。

## 中高一貫教育



継続した指導による学力推移の把握  
6年間かけてつくる未来予想図



一人ひとりの  
特性を理解し、  
6年間で大きく伸ばす

中高一貫コースでは、「自分で考え、判断し、実践できる人」をめざして6年間で育て上げるカリキュラムを展開しています。ふだんの授業だけでなく、朝学習と放課後補習を含め、先取り学習や習熟度別編成での分割授業、放課後特別講座や学期末セミナーなど、あらゆる手を尽くして、将来につながる確かな学力を養成。何より6年間をともに過ごすことで、生徒一人ひとりの特性をしっかりと理解して指導できることが大きな強みになっています。

## ICT教育



日常のあらゆる場面にiPad  
生徒の可能性を大きく広がります



ICTが「あたりまえ」の  
環境で、iPadを  
「学びのパートナー」に

千葉明德はICTがあるのが「あたりまえ」の環境です。デジタル教科書はもちろん、文書やスライドの作成も、課題の提出も、さらにはプログラミングまで、あらゆる場面で日常的にICTを活用します。さまざまなアプリケーションを使いこなし、クリエイティブな活動にも挑戦するなど、生徒にとってiPadは最高の「学びのパートナー」になっています。

## 学校生活



昨日より今日、今日より明日  
成長を実感する毎日

## ノーチャイム制

本校ではチャイムは鳴りません。チャイムがないので、生徒はいつも“次の準備”を気にかけています。チャイムが鳴ってからではなく、開始時には準備万端。時間への意識だけでなく、常に心構えをする習慣が身につきます。

## 時間割例(1年生)

	月	火	水	木	金	土
朝学習	理科/社会	読書	英語	数学	国語	なし
朝の会						
1	数学	美術	地理	体育	数学	理科2
2	理科2	ベルリッツ	英語	数学	音楽	数学
3	道徳	理科1	理科1	美術/音楽	国語	地理
4	国語	地理	国語	数学	英語	
給食						
5	英会話	美術	国語	総合	英語	
6	家庭	技術	英語	学活	体育	
帰りの会						

土曜は特別時程です(8:15より朝の会、8:30より1時限目開始)

## 日誌

日誌には明日の予定と今日の実績、そして「今日良かったこと」を記入。タイムマネジメント力をつけるとともに、前向きに生きる力を蓄積します。

## 施設紹介

全てがそろった  
“学びの園”



ラーニング・コモンス(2024年12月完成予定)



学園本館2階を全面改装。生徒の自主的な学習が可能な“学びの共有地”が誕生します。



メビウスホール



保健室



Language Café



体育館



## 完全給食制

本校の昼食は完全給食制。校内で調理するので、毎日できたてのお昼ご飯を食べられます。栄養バランスもバツグンの、安心・安全で美味しいランチタイムです。  
※高校では給食はなく、学食があります。



B

天体望遠鏡

屋上の天文台は本格的な40cmカセグレン式反射望遠鏡です。月表面のクレーターの1つひとつまでくっきり見えます。



自然に囲まれた美しい校舎  
成長できる環境が詰まっています



F  
グラウンド



G  
自然フィールド

## 部活動

サッカー / バスケットボール / チアリーディング / 山岳 / 硬式テニス / 陸上競技 / バドミントン / 剣道 / 理科 / 吹奏楽 / 合唱 / 写真 / ESS / 書道 / 先端IT研究開発

※このほかにも、高校生の部活動に特別参加できる場合があります。



# 明德で育つ、伸びる、成長する

—みなさんにお伝えしたいこと—

## 在校生から MESSAGE

## 「入学前に感じていた不安と現在」

在校生に入学前に感じていた不安と、現在について語っていただきました。

### 入学前

地元を離れ、初めての電車通学、毎日できるかな。

### 現在

小学校の頃よりも早く起きなければなりませんが、それも慣れました。朝が早い分、早寝を心がけています。また、京成千原線を利用すると学園前駅から歩いてすぐに学校へ着くので、とても楽です。

### 入学前

勉強についていけるか不安。

### 現在

説明会で「たくさん勉強する学校」というイメージがありました。週6日も授業があるので、ついていけるか不安もありましたが、1つ1つの授業に集中することで、小学校の時よりも勉強が楽しくなりました。授業では頭の中の「？」を「！」にすることを目標としています。

### 入学前

仲の良い友だちができるか心配。

### 現在

入学式の後、オリエンテーション期間があり、そこですぐに友だちができました。クラス数は最大3クラスなので、学年での活動も多く、他のクラスの子とも仲良くなりやすいです。アットホームな感じで、ものすごく居心地が良い!

### 入学前

英語が苦手な私でも英検に合格できるかな。

### 現在

1年生の間に英検4級まで合格することができました。今でも英語への苦手意識はありますが、英検前に開設される「英検道場」を活用し、先生にたくさん質問しました。クラスの皆が英検を受けるので、独りぼっちではなく皆で高め合っている感じがします。2年生では3級の合格を目指します!

### 入学前

第一志望ではなかったけれど…楽しめるかな。

### 現在

結論から言うと…めちゃめちゃ楽しめています!最初は悔しい気持ちがありましたが、友人や先生に恵まれ、毎日がとても充実しています。明德はポジティブな人が多いのか、自分も明るくなれます。先生がよく話を聞いてくださるので、何かあったときはすぐに相談しています。明德は知れば知るほど魅力があります。明德に来て良かったですし、6年間がんばりたいと思っています。

### 入学前

どのような先生たちなのだろう。

### 現在

小学校までと違い、授業によって先生が変わるということが不安でした。でも、明德の先生はすごく個性的で、どの先生方も面白いです。態度や提出物には厳しいですが、やることをやってくれればとても優しいです。先生たちがイキイキしているので、学校全体が楽しい雰囲気にあふれています。

### 入学前

自分に合う部活が見つかるかな。

### 現在

体験入部期間が約1ヶ月間あるので、いろいろな部活の体験や見学に行くことができます。私もその中で自分に合った部活動を見つけられました。運動系も文化系も色々な部活動があります。また、「全員加入」ではない為、クラブチームなどで活躍している友だちもいます。

### 入学前

宿題が多いのではないかな。

### 現在

宿題もそうですが、正直やらなければならないことは多いですね(笑)。英語は英単語に加えて音読や本文の清書、数学は計算問題、国語は漢字やことわざなど、毎日やるべきことが盛りだくさん!でも、それが朝学習での合格や各テストにつながっていますし、パワーアップしていることを実感します。絶対に小学校時代よりも勉強している自信があります!

### 入学前

先輩は後輩に厳しいのではないかな。

### 現在

「土と生命の学習」では先輩と一緒に取り組みましたが、取り組みやプレゼンの仕方を丁寧に教えてくれました。部活の先輩も優しいです。仲の良い先輩とは一緒に登校したり下校したりもします。今年からは後輩も入学してきたので、私も頼られる先輩になりたいです。横(同級生)だけでなく、縦(先輩後輩)とのつながりも強く、ファミリーのように感じます。

## 卒業生から MESSAGE

### 「6年間で感じたこと」

千葉明德で過ごした6年を振り返り、一貫生ならではのメリットや思い出、6年間の充実した学園生活を、熱く語ってもらいました。



早稲田大学 教育学部 英語英文学科 1年

I.E.さん (2024年卒業)

入学するまで英語を学んだことはありませんでしたが、明德の授業は洋楽を歌ったり、友だちと英語で会話したりと楽しみながら力をつけることができました。面接練習などの英検対策も徹底していて、準1級を取得。英語力は大学受験の強みにもなりました。またグループワークやプレゼンテーションなど人とコミュニケーションをとったり、人前で話す機会が多いことで人間としても成長できたと思います。今後も尊敬する父を超えることを目標に努力を重ね、将来は起業にも挑戦するつもりです。



早稲田大学 文化構想学部 1年

E.N.さん (2024年卒業)

中高6年間、とても楽しく過ごしました。何より大きかったのは仲間との存在です。みんな個性豊かだからこそ、互いに認め合う関係を築くことができましたし、友だちの影響を受けて世界が広がりました。受験前も人間関係が崩れることなく、精神的にしっかり支えられたと感じています。勉強面では先生方の手厚いサポートがあり、塾に行かずに第一志望に合格することができました。大学では明德で培った力を基盤に、さらに幅を広げて学び、その中で自分の進む分野を見つけていきたいと思っています。



千葉大学 国際教養学部 国際教養学科 1年

Y.W.さん (2024年卒業)

充実した英語の指導に魅力を感じて明德を選び、6年間、さまざまなアクティビティや海外プログラムを通じてしっかりと英語力を身につけました。国立大学志望で受験科目が多いのは大変でしたが、先生方のフォローがとても心強かったです。個別に見てもらった世界史の過去問演習で、合格点が取れず、大泣きしてしまったとき、励ましの声をかけてもらったことが心に染みて、本番では最高の力を発揮できました。明德は先生も仲間もあたたかく、安心していただける場所だったと実感しています。



東北大学 薬学部 薬学科 1年

Y.Y.さん (2024年卒業)

私は薬学部に進学し、将来、薬学の研究系の仕事に就きたいと考えています。明德では、「土と生命の学習」や課題研究論文などに取り組み、早い段階から、「研究者」という職業のイメージを持つことができました。また、受験勉強に関しては、コロナ禍の影響があっても、時間を無駄にしないようにしっかりと計画を立てて取り組んだことが結果につながったと思います。いつも生徒のことを考えて、ときには厳しく、そしてあたたかく指導してくださった担任の先生には感謝の気持ちでいっぱい입니다。



都庁勤務 明治大学 国際日本学部卒業

H.M.さん (2019年卒業)

明德での6年間、さまざまなことに挑戦して、大きく成長できたと感じています。やりたいことがあれば、いつでも先生方が背中を押してくれたから、何も恐れずチャレンジできました。特に中3でボストン語学研修に参加したことは、国際系の進路を選ぶきっかけになりました。また、「土と生命の学習」や「試して・まとめて・書いて・発表する」という明德ならではの学びは、今もつねに「自分は何をやりたいのか」「そのためには具体的に何をやらなければならないのか」を考えながら行動する自分の基盤になっています。

## UNIFORM 制服紹介

女子は  
スラックスも  
選べます！

夏服の半袖シャツは  
通気性が良くて着心地が  
いいです。



男子冬服



女子冬服スラックス



女子夏服スカート



女子夏服スラックス



女子冬服スカート



男子夏服

# Information 2024 & 2025

## 夏休み体験入学会

- 第1回 7月27日(土) 9:30~12:00
- 第2回 8月31日(土) 9:30~12:00

○終了後、希望者対象プログラムもあります。  
(小学4~6年生児童・保護者対象)

## 学校説明会

- 第1回 9月22日(日) 9:30~12:00
- 第2回 10月13日(日) 9:30~12:00
- 第3回 11月10日(日) 9:30~12:00
- 第4回 12月15日(日) 9:30~12:00

○各回とも教育プログラム・入試制度・施設見学・個別相談など、  
千葉明德の受験や入学に必要な情報をご説明します。  
(小学生児童・保護者対象)

## 6年生対象個別相談会

1月11日(土) 9:00~12:00

(小学6年生児童・保護者対象)

**web予約** イベント参加のご予約は全て本校ウェブサイトより。

※本校へお越しの際には公共交通機関をご利用ください。  
※上履き・筆記用具を持参のうえお越しください。詳細は本校ウェブサイトに掲載いたします。  
※個別の見学等につきましては、下記入試専用ダイヤルにお問い合わせください。

《入試専用ダイヤル》043-265-1772

## 千葉明德中学校までの通学時間



- 京成千原線「学園前」駅から徒歩1分
- JR線「蘇我」駅から小湊バスで15分
- JR外房線「鎌取」駅から小湊バスで10分、バス停より徒歩3分

※学校までの所要時間は朝の登校時間帯で計算しております。  
十分な駐車スペースが確保できないため、お車でのご来校はご遠慮ください。

## 千葉明德中学校・高等学校

〒260-8685 千葉県千葉市中央区南生実町1412番地  
TEL.043-265-1612 FAX.043-265-3709

<https://edu.chibameitoku.ac.jp/junior/>

